

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月22日

事業所名 そら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		2	・一般家で利用スペースに限りがある為、活動に応じてテーブル等を移動させている。	・指定基準は満たしているが、必要に応じて活動のスペースや環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		・個別対応を丁寧に行うために人員がほしい。	・指定基準以上には職員を配置しているが、人員がより必要な日があれば、勤務表作成時や前もって調整をかけるようにします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている		3	2	・室内に段差等あり、完全バリアフリーではないが危険やけがないよう物を配置、収納している。	・賃貸なので完全なバリアフリー化は難しいが、現在の利用者様が安全に生活しやすい空間を維持しながら、今後も現状に合わせた配慮を適宜行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1			・目標設定を行って定期的に振り返りを行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1			・令和5年10月30日～11月17日にて評価を実施。 ・集計回答した後、令和6年2月末日までにホームページに載せる。職員間で結果の共有を行い、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1			・令和6年2月末日までにホームページにて公開する。 ・公開の際は、法人全体に対してお知らせを行います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2		・第三者委員の設置など検討し、今後改善していけたらと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1			・研修に参加する機会を多く持ちたいが、平日は運営上抜けるのは難しい現状がある。ZOOMやYouTube配信など移動時間がかからない物やいつでも見れるものを活用して行きたい。 ・働き方改革で、職員の休みも確実に確保していかなければならない今、研修のあり方を再度考えて行きたいと思えます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				・今後も児発管と利用者様、現場職員と保護者様にアセスメントを適宜行いながら、より良い支援計画の作成に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			・今後も法人作成のアセスメントツールを活用して利用者様の状態を把握していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				・年間の療育計画を基礎として、活動を計画し、社会性を育み、自立に向けてできることを増やしていく支援を行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・季節ごとの行事や屋外でもの遊びも取り入れている。体を動かす両活動をプログラムしている。	・宿題など繰り返しが必要な活動もあるが、日々利用児が変わるので、その日のメンバーによって細かな内容を決める事もある。基本的な内容は年間計画に則って行きます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				・今後も、子どもたちに合わせた課題を設定して支援していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・能力に応じて必要な支援を考えアプローチしている。	・今後も個別と集団を意識した療育に勤めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・送迎などで、全員での打ち合わせは難しいがその都度、確認している。	・パート勤務者の就労時間が短いので、朝に支援者全員で確認するのは難しいが、できるだけ時間を取って打ち合わせができるように改善して行く。正規の職員はサービス提供時間前にゆっくりと次の日の打ち合わせをする時間が持っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・パート職員など全員での振り返りは難しいがミーティング記録などで共有している。	・今後も、事前打ち合わせや情報の共有を積極的に行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・その日の出来事を活動や発言などの具体的に記録している。	・今後も、個人の支援計画の目標に沿った記録をとるよう徹底します。 ・記録は評価の際に役立てています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				・予定された期日までに、評価、見直し会議を行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5				・基本活動を組み込みながら、今後も活動に生かすよう努めます。
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				・担当者会議には、主に児発管や管理者が参加するようにします。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				・学校側もお忙しいので、直接お会いして話す機会は少なかつたものの、学校のおたよりの確認や電話での連携は適宜とって支援をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		・保護者と情報を交換している。	・医療的ケア児としての利用はないが、病気のある子どもも少なくない。体調面に関しては、看護師が担当対応します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
自 と の 連 携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	4	1			・保護者様の要望や必要性に応じて、支 援内容等の情報共有と相互理解を図って いきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	4	1			・対象者がいれば情報の提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	5				・今後も積極的に他機関との連携を図り ます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	2	2	・近隣の公園で一 緒に遊ぶことがあ る。	・交流できる機会があればしたいと思ってい ます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参 加している		3	2		・今後参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	5				・今後も、連絡帳や面談など積極的に保 護者との共通理解共通支援を図っていく よう務めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	3		2		・来年度法人全体で実施するよう計画し ていきます。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	5				・今後も契約時に児発管や理事から丁寧 に説明をしていきます。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	5			・パートの為、保護者 と直接お会いするこ とがない。連絡ノートの 保護者コメント欄を確 認し、必要な支援を行	・今後も丁寧な対応を心掛けたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・現在も新型コロナやインフルエンザ等の感染症が流行しています。今後も利用者様の健康と安全を第一に保護者様同士が交流できる機会を作っていきます。 ・感染症などの流行を鑑みながら、来年度法人全体での開催の方向で準備できたらと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様や保護者様が、今後も相談や申し入れがしやすい環境を提供します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、個人情報には十分配慮しながら、情報の発信をしていきます。
	35	個人情報に十分注意している					<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、個人情報には十分配慮していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、必要な時に必要な配慮を職員の共通理解のもと行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部で地域の祭りが休日に行われたので参加はできなかったが、地域のために駐車場や休憩場所として本部を無償で開放しました。 ・コロナ禍は明けたが、年中感染症等が流行しており行事や施設見学等の開催を見送っている現状がある。今後も利用者様の健康と安全を第一に、地域交流について検討計画したいと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月から業務継続計画の策定が義務化になります。（災害時の緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や早期復旧を目指すための計画です。）そこに全てが網羅される形になっていますので、保護者様にも周知したいと考えています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
凡	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				・今後も様々な災害を想定しながら定期的に避難訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1			・今年度も大分県の開催している虐待研修に法人から1名参加しました。 ・法人内での虐待研修の開催を年1回は必ず実施しています。 ・今年度の研修は、令和6年3月30日に開催。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1			・今後も、保護者に身体拘束について分かりやすい例を出しながら説明して理解を得るよう努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				・アレルギーのあるお子様が利用する際は、検査結果の提出と利用前に対応について詳しく聞き取りをします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1			・今後も、事故を未然に防ぐためにヒヤリハットを作成して役立てていきます。